

平成21年12月11日

### ホワイトスペースの活用方策など新たな電波の利用方策に関する提案の募集

総務省では、ホワイトスペースの活用など新たな電波の有効利用の促進に向けた検討を行うため、「新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム」（座長：土居範久 中央大学工学部教授）を開催しています。

今般、同検討チームでの議論に資するため、ホワイトスペースの活用方策など新たな電波の利用方策について、平成21年12月11日（金）から平成22年1月12日（火）までの間、広く提案を募集します。

#### 1 趣旨

総務省は、平成21年12月2日から「新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム」（以下「検討チーム」）を開催し、新たな電波の有効利用の方向性を検討し、その実現に向けた具体的な提言を策定するため検討を始めました。

今般、検討チームでの今後の議論に資する観点から、ホワイトスペースの活用方策など新たな電波の利用方策について提案を募集します。

#### 2 募集要領

別紙のとおり

#### 3 募集期限

平成22年1月12日（火）17時（必着）

（郵送については、同日付けの消印まで有効とします。）

#### 4 留意事項

##### （1）提案の取扱い

提出された提案は、検討チームにおける議論の参考とさせていただきます。提案内容については、募集期間終了後、取りまとめて公表する予定です。その際、提出された方の氏名及び所属（法人等にあつてはその名称）に関する情報についても併せて公表します。

また、提案内容等は原則公表を想定していますが、不都合がある場合は事務局まで御連絡ください。

なお、提案に対する個別の回答は致しかねますので御了承ください。

##### （2）提案内容の聴取

検討チームにおいて、提出された提案内容の詳細を把握するため、提案者から、その内容、事業化の可能性、提案されたシステムに係る技術的情報等を説明していただくことがあります。説明を求める場合は、事務局より提案者に事前に御連絡いたしますので、あらかじめ御了承ください。なお、説明に当たって発生する交通費等は支給されません。

## 5 御提案の提出先

新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム事務局

(総務省総合通信基盤局 電波部 電波政策課)

担当：平松周波数調整官、瀬田第一計画係長

電話：03-5253-5875 (直通)

F A X：03-5253-5940

E-mail：vision-kentou\_atmark\_ml.soumu.go.jp

(※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。)

## 6 その他

本提案募集については、総務省ホームページ (<http://www.soumu.go.jp>) の「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口 [e-G o v] (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において配布します。

### 〈 関係報道発表 〉

○「新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム」の発足 (平成21年11月25日)

URL：[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02kiban09\\_000024.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban09_000024.html)

### 〈 お問い合わせ先 〉

総合通信基盤局 電波部 電波政策課

担当：平松周波数調整官、瀬田第一計画係長

電話：03-5253-5875 (直通)

F A X：03-5253-5940

E-mail：vision-kentou\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

## 提案募集要領

ホワイトスペースの活用方策など新たな電波の利用方策について提案される方は、下記により提案を提出してください。

### 記

1. 提案提出フォーマット（別添様式「ホワイトスペースの活用など新たな電波の利用方策に関する提案募集の提出フォーマット」）に氏名、住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）及び連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記の上、提出期限までに日本語にてご提出ください。
2. 提案を補足する資料があれば、A4判（様式自由）で添付してください。
3. 提出期限は、平成22年1月12日（火）17時（必着）必着とします。

#### 4. 提出方法

提案は、次のいずれかの方法により送付するものとし、提出媒体は基本的には電子媒体としてください。なお、FAX、持参又は郵送の場合、提出頂いた提案を電子媒体により提出していただくようお願いすることがありますので、その際は協力願います。

#### 【電子メールの場合】

電子メールアドレス：vision-kentou\_atmark\_ml.soumu.go.jp

（※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。）

新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム 事務局宛

なお、電子メールの受取可能最大容量は5MBとなっていますので、それを超える場合は、ファイルを分割するなどした上で提出してください。

#### 【FAXの場合】（※担当に電話連絡後、送付してください。）

電話番号：03-5253-5875

FAX番号：03-5253-5940

新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム 事務局宛

## 【持参又は郵送の場合】

送付先住所：〒100-8926

東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎 2 号館

総務省総合通信基盤局 電波部 電波政策課

新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム 事務局宛

## 5. 留意事項

### (1) 提案の取扱い

提出された提案は、検討チームにおける議論の参考とさせていただきます。提出された提案については、募集期間終了後、取りまとめて公表する予定です。その際、提出された方の氏名及び所属（法人等にあつてはその名称）に関する情報についても併せて公表いたします。

また、提案内容等は原則公表を想定しておりますが、不都合がある場合は事務局までご連絡ください。

なお、提案に対する個別の回答は致しかねますのでご了承ください。

### (2) 提案内容の聴取

検討チームにおいて、提出された提案内容の詳細を把握するため、提案者から、その内容、事業化の可能性、提案されたシステムに係る技術的情報等を説明していただくことがあります。説明を求める場合は、事務局より提案者に事前にご連絡いたしますので、あらかじめご了承ください。なお、説明に当たって発生する交通費等は支給されません。

## 6. その他

ご記入いただいた氏名（法人等にあつてはその名称）、住所（所在地）、電話番号、メールアドレスは、提案内容に不明な点があつた場合等の連絡・確認のために利用します。

以上

ホワイトスペースの活用など新たな電波の利用方策に関する  
提案募集の提出フォーマット

平成 年 月 日

※赤字は留意事項です。提出の際にはすべて削除してください。

組織名及び 代表者氏名	
住 所	
連絡先	担当者氏名 :  電話 :  F A X :  e-mail :

※提出する組織の名称（企業名、大学名等）及び組織の代表者氏名をご記入ください。  
共同で提案する場合には、連名でご記入ください。

※提案内容の概要が分かる図（概要図、イメージ図等）をなるべく添付又は挿入してください。

※提案内容等に関し、問い合わせることや検討会における説明を依頼することがあります。

1. 提案内容	タイトル	
	<b>【提案概要】</b> ※ホワイトスペースの活用など新たな電波の利用システムのイメージについて利用場面や利用者への提供サービスの内容をご記入ください。  ※提案内容の新規性やビジネスイメージ（規模など）についても簡潔にご記入ください。	
	<b>【利用する電波の諸元】</b>	
	周波数	(例：●帯、●MHz～●MHz)
	占有周波数帯幅	
	空中線電力	
	使用エリア	(例：全国、特定エリア、移動・固定の別、屋内・屋外の別 など)
	※このほか、電波の諸元に関する情報があればご記入ください。	

※提案内容の実現により期待される経済的効果及び社会的効果等をご記入ください。なお、できるだけ具体的数値を挙げ、算出根拠も記してください。

2. 提案内容  
の実現に  
よる効果

	<p><b>【周波数共用技術の開発や混信等に対する措置】</b></p> <p>※新たな電波の利用システムを導入するに際して必要となる時間的・地理的・技術的な条件によって周波数を共用する方法や、当該方法に関して行ったこれまでの調査研究や技術開発、実証実験等があればその状況について具体的にご記入ください。</p> <p>※放送や通信などの既存の電波の利用者に対する混信等に対する措置について、具体的にご記入ください。</p>
<p>3. 提案内容の実現に向けて検討すべき課題とそのための方策</p>	<p>※このほか、提案内容の実現のために検討すべき課題とそのための方策についてご記入ください。</p> <p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術開発や実証実験の実施、技術基準の策定</li> <li>・ 提案内容の導入方法や既存利用者とのルール作り等 等</li> </ul>
<p>4. その他</p>	<p>※提案内容の実現に関連する参考情報があればご記入ください。</p> <p>(具体例) 海外の取組状況、技術動向 等</p>